

# 自然環境保全地区

自然環境保全地区の指定制度は「草津市の良好な環境保全条例」に基づき、残された自然環境を少しでも多く保全し次世代に継承すべく、良好な自然状況を残している地域を『自然環境保全地区』として指定するものです。

## 1 立木神社自然環境保全地区

所在地	指定面積	指定日
草津4丁目	10,197 m <sup>2</sup>	S61.8.7

○自然環境保全地区の概要  
高木層にクスノキが優占する自然度の高い常緑広葉樹林である。境内には大径木のウラジロガシ、クロガネモチ、クロマツなどが生育している。



## 2 小槻神社自然環境保全地区

所在地	指定面積	指定日
青地町	16,946 m <sup>2</sup>	S61.8.7

○自然環境保全地区の概要  
ヒノキの混生したコジイ林で丘陵地に発達しているため、鳥類や昆虫類の種類も豊富で、人為的及び平野部のコジイ林に比べて良好な自然環境を形成している。



## 3 熊野神社自然環境保全地区

所在地	指定面積	指定日
平井3丁目	8,000 m <sup>2</sup>	S62.8.18

○自然環境保全地区の概要  
常緑広葉樹のコジイ林にスギとヒノキが混生した、住宅地の中の数少ない自然度の高い針広混交樹林である。鳥類・昆虫類も多く種類が生息している。



## 4 印岐志呂神社自然環境保全地区

所在地	指定面積	指定日
片岡町	7,041 m <sup>2</sup>	S63.7.8

○自然環境保全地区の概要  
ヒノキやクロマツの植林に、常緑広葉樹のスタジイ、オガタマなどが生育する樹林である。樹林全体が北部田園地帯のランドマーク的な存在となっている。



## 5 芦浦観音寺自然環境保全地区

所在地	指定面積	指定日
芦浦町	11,000 m <sup>2</sup>	S63.7.8

○自然環境保全地区の概要  
ケヤキやムクノキの優占する自然度の高い落葉広葉樹林で、市内の平野部では珍しい。樹林全体が歴史的・文化的遺産の館跡と一体となって良好な自然環境を形成している。



## 6 天神社(川原)自然環境保全地区

所在地	指定面積	指定日
川原4丁目	7,248 m <sup>2</sup>	H4.4.20

○自然環境保全地区の概要  
高木層には、スギ・ヒノキ植林が、亜高木層にはマダケ・モウソウチク林が繁茂している人工林である。社殿周辺には市内では珍しいナギの古木が生育している。



## 7 老杉神社自然環境保全地区

所在地	指定面積	指定日
下笠町	12,660 m <sup>2</sup>	H4.4.20

○自然環境保全地区の概要  
大部分はマダケ・モウソウチク林で占められ、社殿周辺にはサカキの混生するヒノキ植林が発達している。境内にはイヌマキの古木も見られる。



## 8 天神社(木川町)自然環境保全地区

所在地	指定面積	指定日
木川町	5,946 m <sup>2</sup>	H4.4.20

○自然環境保全地区の概要  
ヒノキ植林やマダケ・モウソウチク林、クスノキ、クロガネモチ、サカキなどの常緑広葉樹とヒノキの混交林など、多様な樹林が発達している。



## 9 山田正八幡宮自然環境保全地区

所在地	指定面積	指定日
北山田町	5,934 m <sup>2</sup>	H4.4.20

○自然環境保全地区の概要  
コジイ優占の常緑広葉樹林とヒノキ植林が生育している。コジイ林はコジイの大径木も多く、環境省の特定植物群落に選定されている貴重群落である。



## 10 治田神社自然環境保全地区

所在地	指定面積	指定日
南笠町	6,631 m <sup>2</sup>	H4.4.20

○自然環境保全地区の概要  
社叢林の大部分はヒノキ優占の植林となっているが、部分的にヒノキ植林に常緑広葉樹のクスノキ、サカキなどが高い被度で混生する樹林も見られる。



## 11 新宮神社自然環境保全地区

所在地	指定面積	指定日
野路6丁目	5,770 m <sup>2</sup>	H6.4.15

○自然環境保全地区の概要  
この社叢林はアカマツを交えたヒノキ植林によって占められているが、境内の一部には小面積のマダケ・モウソウチク林も生育している。



## 12 若宮八幡神社自然環境保全地区

所在地	指定面積	指定日
西矢倉3丁目	4,616 m <sup>2</sup>	H6.4.15

○自然環境保全地区の概要  
典型的なコジイ林でヤブツバキ、アラカシ、サカキなどの常緑広葉樹が多く生育している。林内には幹周200cm以上のコジイが7本も見られる。



## 13 八幡神社(追分)自然環境保全地区

所在地	指定面積	指定日
追分5丁目	4,160 m <sup>2</sup>	H6.4.15

○自然環境保全地区の概要  
社殿周辺にはヒノキとアカマツの混生した針葉樹林が発達している。本来は山地の森林に生息するコゲラなどの森林性の鳥類も確認されている。



## 14 八幡宮神社(馬場町)自然環境保全地区

所在地	指定面積	指定日
馬場町	5,751 m <sup>2</sup>	H6.4.15

○自然環境保全地区の概要  
高木層にヒノキが優占し、亜高木層には常緑広葉樹が顕著な生育をしている植林である。尾根部近くではヒノキとアカマツが混生した植林となっている。



## 15 十二将神社自然環境保全地区

所在地	指定面積	指定日
山寺町	13,408 m <sup>2</sup>	H6.4.15

○自然環境保全地区の概要  
大部分がヒノキ優占の植林で、林内には樹高が20m以上にも及ぶヒノキが見られる。尾根部ではヒノキ植林にアカマツの混生した針葉樹林となっている。



## 16 鞭崎神社自然環境保全地区

所在地	指定面積	指定日
矢橋町	7,143 m <sup>2</sup>	H24.3.1

○自然環境保全地区の概要  
主にコジイ、ケヤキ、クスノキ、ヒノキが部分的に優占する混交林である。また、滋賀県内でも珍しいナナミノキの大径樹が生育している。

